

7. 軟式庭球部

委員長 飯島 隆

47年度も種々とむずかしい問題がありましたが、諸先生方の御協力により予定通り行事が終了できました。大会の結果については記録を見て頂きたい。そして反省と研究の資料として来年もすばらしい成績ができるよう御指導を願います。

本年度の歩みを簡単に振り返ってみると、まず

第1に県軟式庭球連盟加盟に際し選手登録料を納入することになり、各校に御協力を得ました。登録校は82校にのぼり高体連では最高です。登録料は今後毎年納めるようになりますので、新年度のクラブ予算に組み入れておかれるようお願いいたします。

第2は軟式庭球部の組織の強化と運営の円滑化をはかったことです。運営部副委員長に野口(江戸崎)、永井(常北)、強化部副委員長に大木(緑岡)の各氏を選び、三つを軸に各地区代表委員をそれぞれの部門に配置し、複雑な問題処理に当り責任と公正を主眼に運営を行ってきました。

第3は全国大会県予選団体戦は県民総体を兼ねたため地区代表校を4校に増やしたこと、また国体県予選の方法を改革したことです。これは先生方の御要望と同時に如何にしたら強力な選手が選出できるかという本部委員たちの苦心の試みでもあります。結果的には全日本予選方法は大変好評だが、国体選抜の面ではまだ疑問の点が残っているようです。

第4に春季強化合宿の実施で新人選手の技術指導を行った。3月のなかば、春とは

いえ寒気の強い中で大木先生、西野先生には御苦勞をかけました。河崎ラケットの笠見祐司氏と全国大学のナンバーワン中京大の木口・横江組をコーチに熱心に指導を受けました。

第5に国体強化訓練の実施。県選手強化対策本部の計画に則り、男女共1泊2日の合宿3回、合同練習2回、近県遠征試合1回の強化を行った。男子はストレート鹿児島国体出場、善戦したが2回戦にとどまった。女子は遠征中心の強化を進め必勝を期したが関東地区予選で3位、代表は1位のみなので惜しいところで涙をのんだ。茨城国体まで、あと一年余しかないことを考えると、こんな状態では勝ち目はない。抜本的な強化策をたてなければならない。

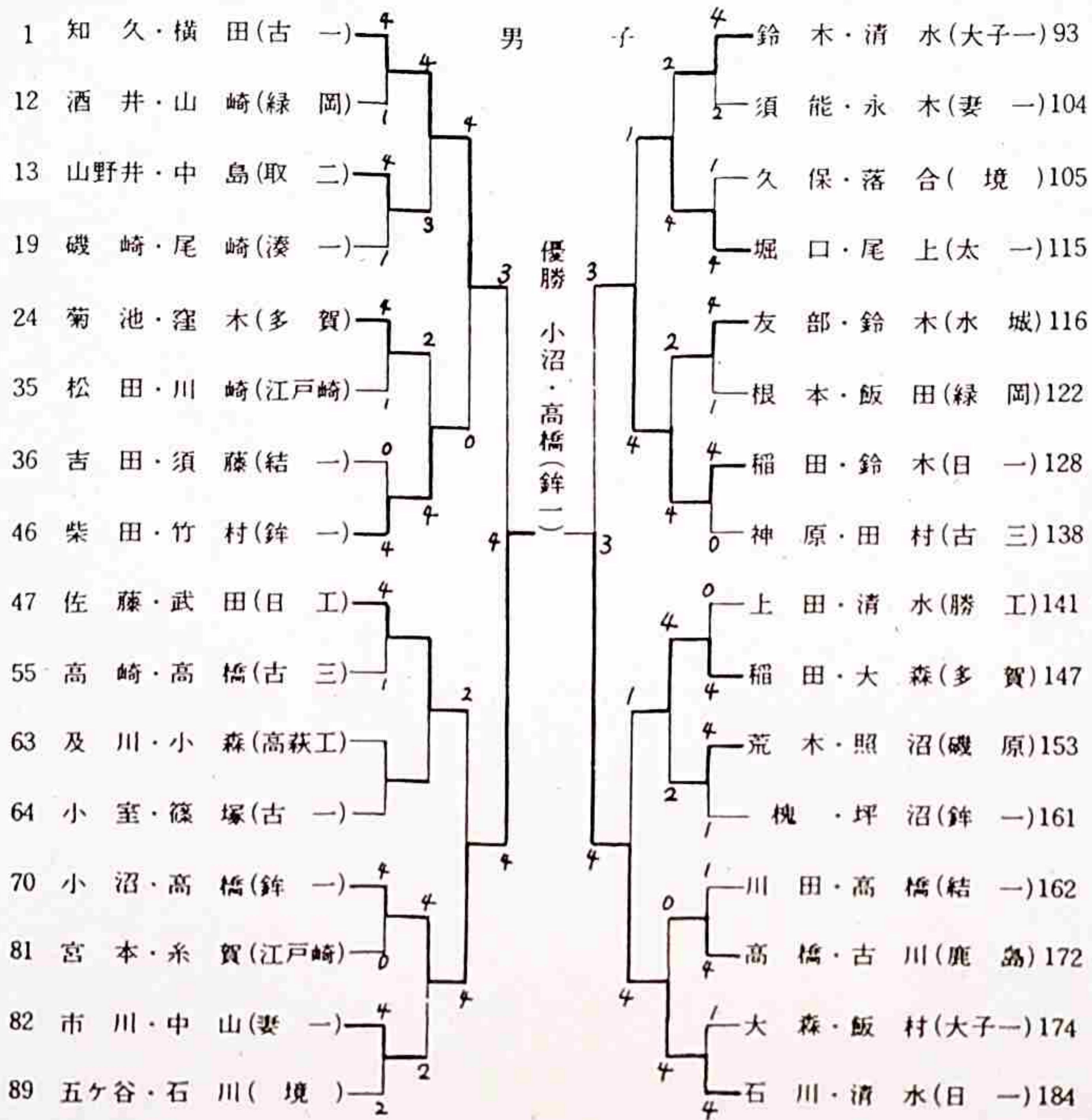
第6は審判講習会を企画、競技規則の説明会を行ない、多数の先生方の出席を得て、ルール解説と審判実技を熱心に勉強しました。講師は日本軟式庭球連盟常務理事の鈴木英蔵氏を招へいしました。

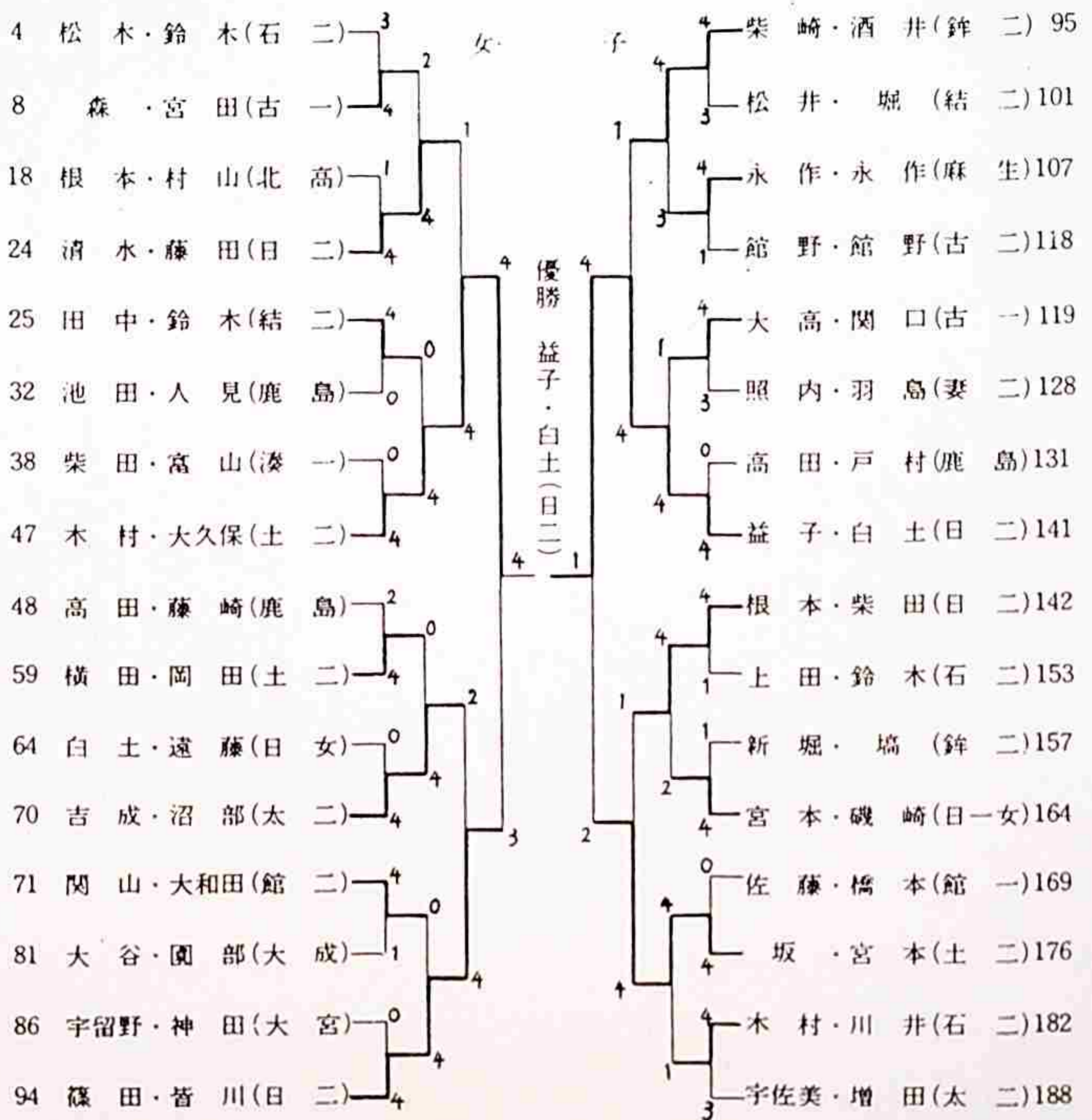
第7、明年の関東大会に備えて、48年度は第24回関東大会を本県で開催することになりました。諸先生方の御協力を得て立派に成功させたいものと願っています。そういう意味を含めて先の審判講習会も開催した訳です。

第8、活躍した有名選手をみると石川・清水(日一)、知久・横田(古一)、佐藤・武田(日工)、小沼・高橋(鈴一)らが居るが、今年度はずばぬけて強い選手はなかった。根本・郷江(多賀)は国体には代表になった

昭和47年度県高校軟式庭球春季選手権大会

4月22・23日 於県立スポーツセンター





(戦評) 男子-県東地区の新鋭小沼・高橋(鈍一)がベテラン石川・清水(日一)を接戦の末破って初優勝。準決勝では知久・横田(古一)、稲田・鈴木(日工)が負けはしたがかなり良い試合を展開、本年度の主力チームとなりそう。女子-益子・白土(日二)が長足の進歩をみせて、木村・大久保(土二)に一方的な勝利。完璧な試合だった。

期待されてるシードチームは意外に不振だった。男子は日立一、古河一の躍進がめだち、女子は日立二、土浦二の上位争いか。勢力を南北に二分している。第1シード田口・米川(鈍二)が石岡二の新人に破れたのは気のゆるみか。惜しまれてならない。

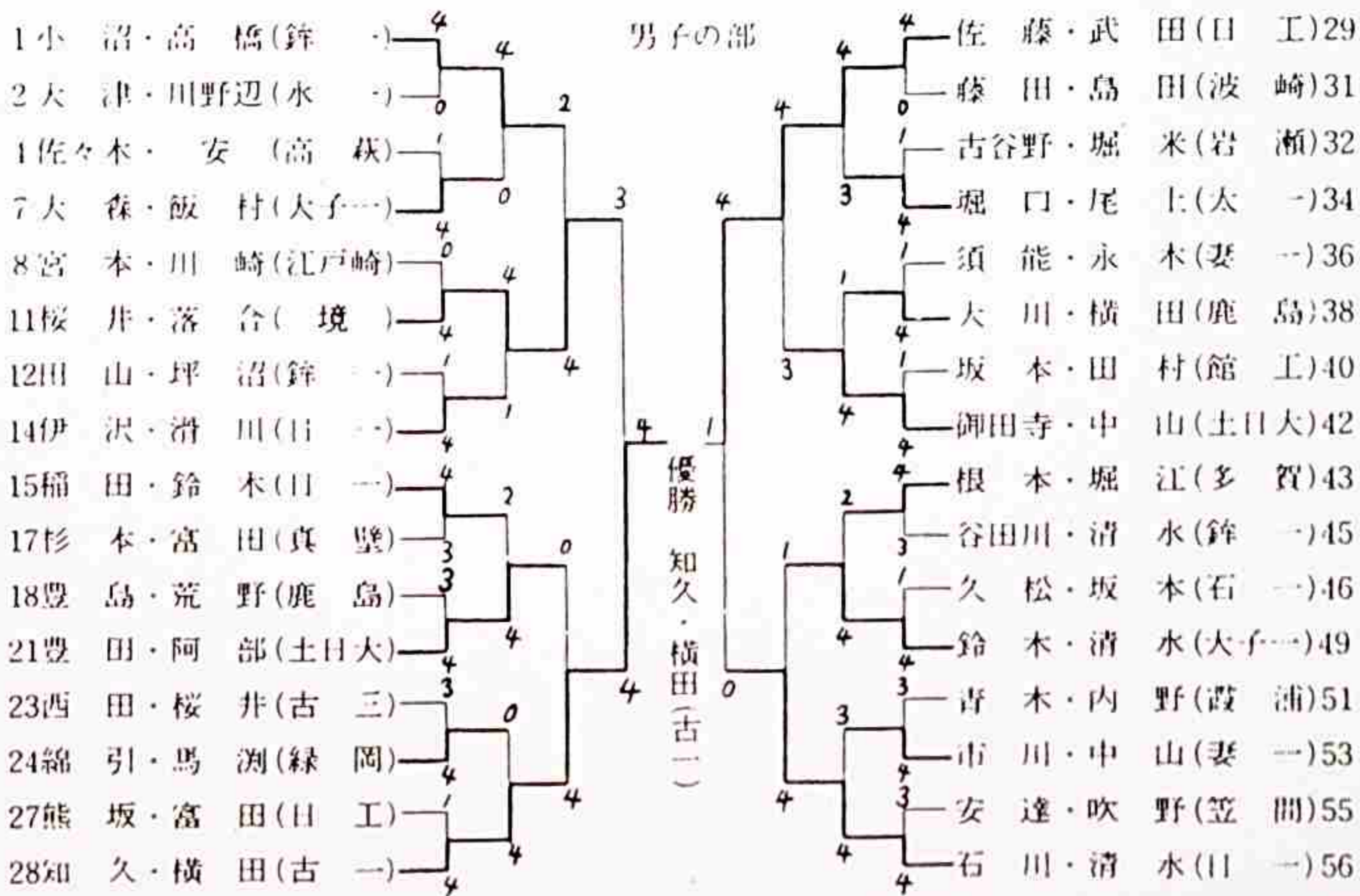
増田(大二)、篠田・皆川(日二)らが続々倒れた。代りに北野・桐原(大宮)、小倉・川

崎(大二)が代表権を得た。

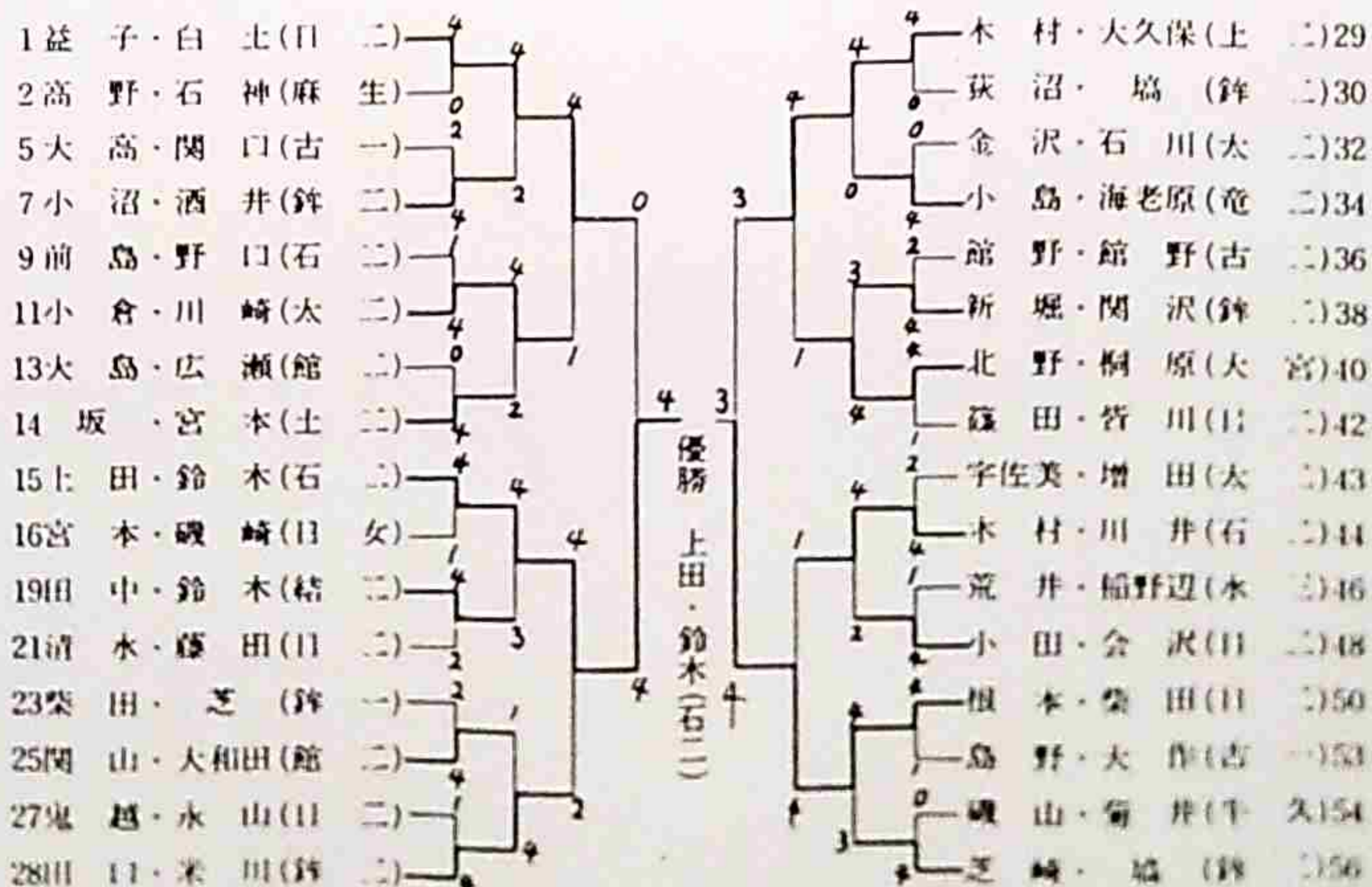
第8回県民総合体育大会

兼全国高校軟式庭球選手権大会(個人の部)

17、6、18 於水戸市営コート



女子の部 於、県立スポーツセンター



第23回関東高校軟式庭球選手権大会県予選会(団体戦)

5月15日 於水戸市営コート・石岡三高コート

男子予選リーグA

	大子	結一	玉工	日大	日一	勝点	順位
大子一		②	②	1	③	3	1
結一	1		②	0	0	1	4
玉工	1	1		1	1	0	5
日大	②	③	②		0	3	3
日一	0	③	②	③		3	2

女子予選リーグA

	水商	銚二	土二	結二	太二	勝点	順位
水商		0	0	0	0	0	5
銚二	③		②	②	②	4	1
土二	③	1		②	③	3	2
結二	③	1	1		②	2	3
太二	③	1	0	1		1	4

男子予選リーグB

	水一	古一	取二	鹿島	太一	勝点	順位
水一		②	0	0	0	1	5
古一	1		②	②	②	3	2
取二	③	1		1	1	1	4
鹿島	③	1	②		②	3	1
太一	③	1	②	1		2	3

女子予選リーグB

	大宮	森生	石二	館二	日二	勝点	順位
大宮		0	0	0	0	0	5
森生	③		0	0	0	1	4
石二	③	③		②	1	3	2
館二	③	③	1		0	2	3
日二	③	③	②	③		4	1

男子決勝リーグ

	日一	古一	大一	鹿島	勝点	順位
日一		1	0	③	1	3
古一	②		②	②	3	1
大一	③	1		②	2	2
鹿島	0	1	1		0	4

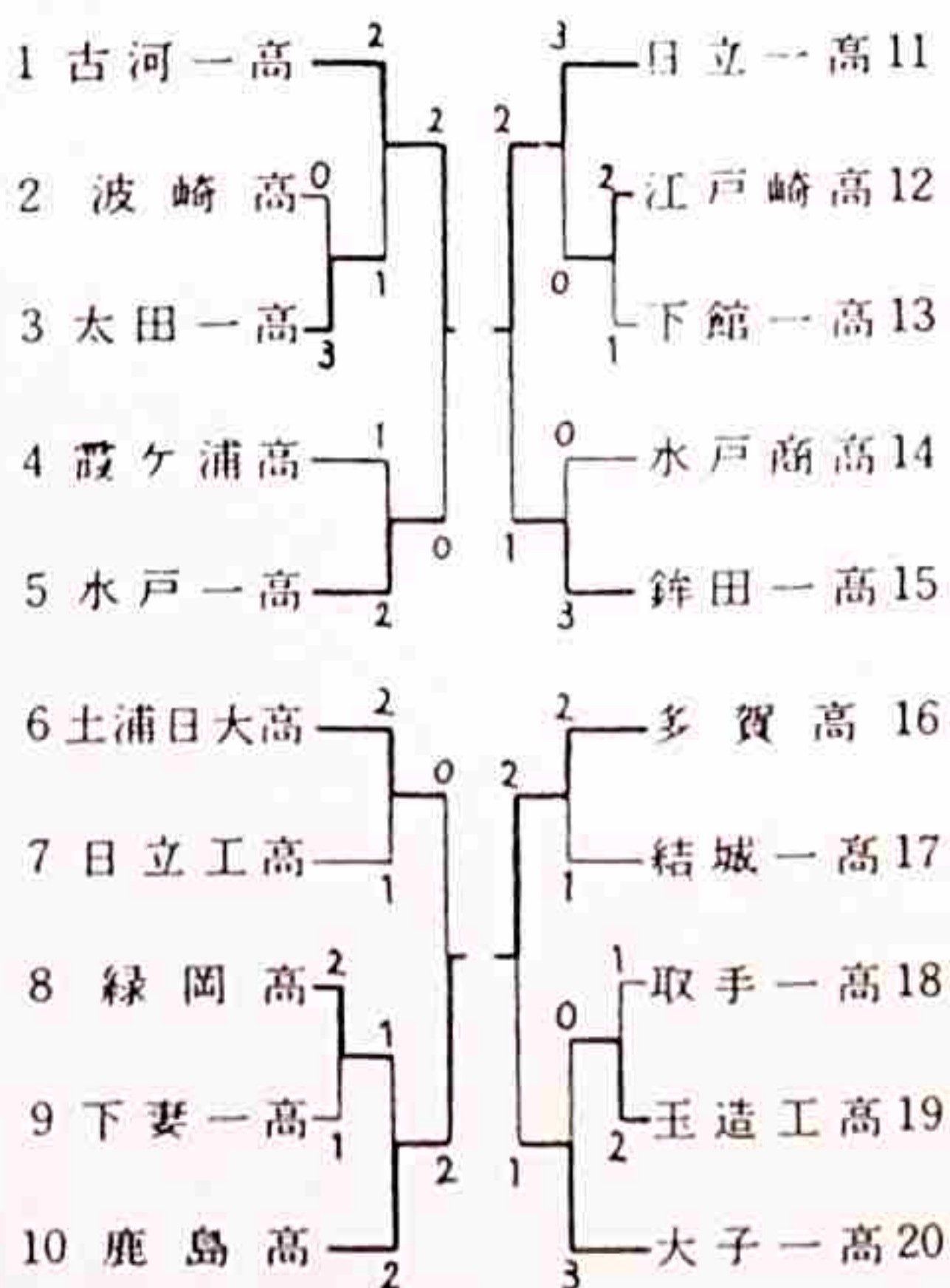
女子決勝リーグ

	銚二	土二	日二	石二	勝点	順位
銚二		②	1	③	2	2
土二	1		1	1	0	4
日二	②	②		②	3	1
石二	0	②	1		1	3

第8回県民総合体育大会軟式庭球競技(高校の部)
兼全日本高校軟式庭球団体選手権大会茨城県予選大会

S 47. 6. 17 於水戸市営コート(男子), 県立スポーツセンター(女子)

・予選トーナメント(男子)

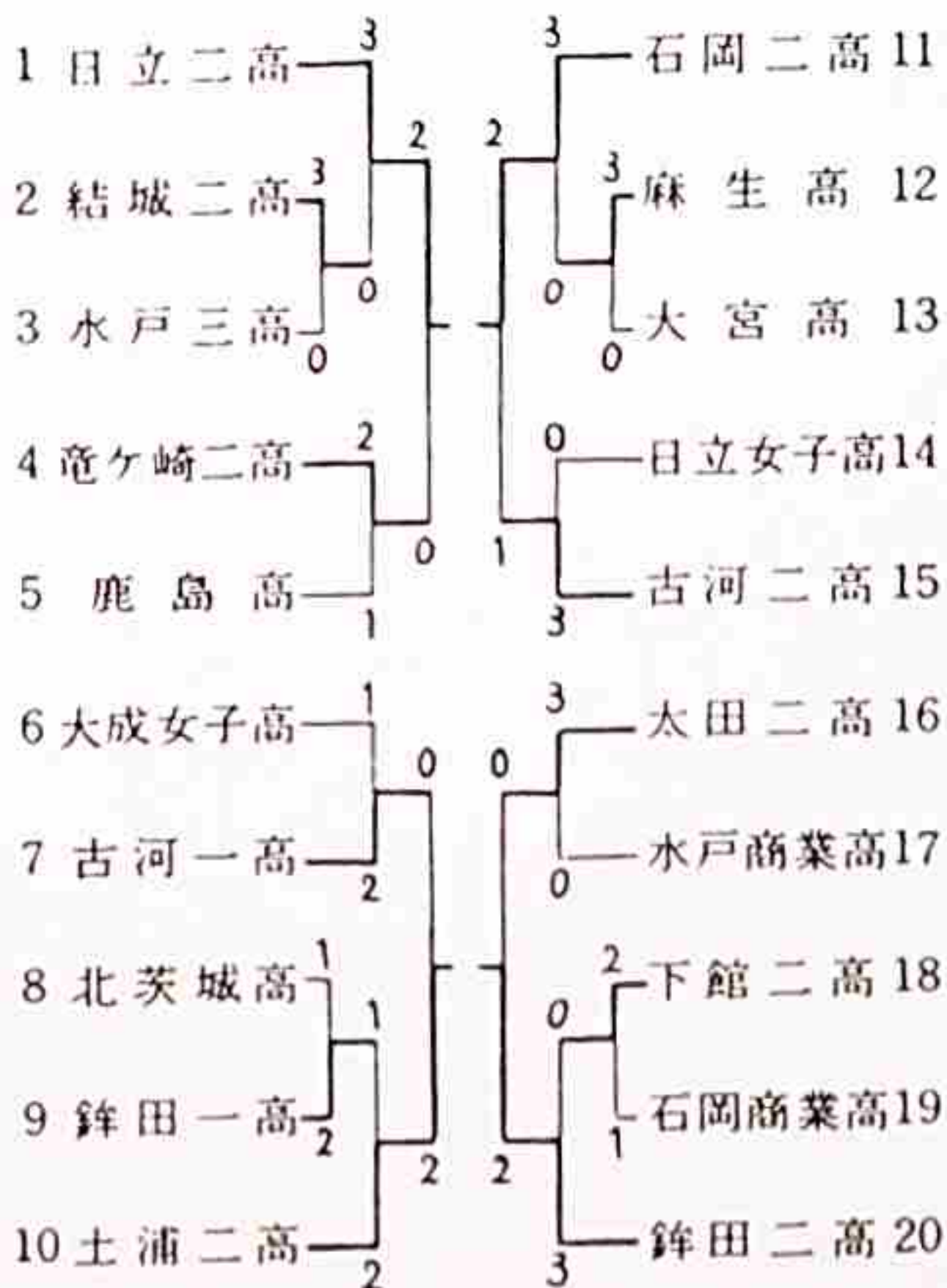


・決勝リーグ

	1 多賀	2 日一	3 古一	4 鹿島	勝点	順
1 多賀	-	0	1	1	0	4
2 日一	③	-	③	1	2	2
3 古一	②	0	-	1	1	3
4 鹿島	②	②	②	-	3	1

(戦評) 第8回県民総体を兼ねて実施。各地区代表20校による熱戦。予選リーグのあと決勝リーグで男子は鹿島が強豪の日立一、古河一を破り初優勝。女子は先の関東県予選と全く同じケース。土二・石二・日二・鉾二の激突となり日立二が10年ぶりに優勝した。個人戦では8組の県代表を決める戦い

・予選トーナメント(女子)



・決勝リーグ

	1 鉾二	2 土二	3 石二	4 日二	勝点	順
1 鉾二	-	③	②	1	2	2
2 土二	0	-	②	1	1	3
3 石二	1	1	-	0	0	4
4 日二	②	②	③	-	3	1

だが有望選手の脱落に明暗があった。男子は比較的順調にシード組が代表。小沼・高橋(鉾一)、桜井・落合(境)に3連勝を阻まれた。優勝は知久・横田(境)。女子は関東優勝の益子・白土(日二)が準決で上田・鈴木(石二)に4-0で敗れる波乱があった。芝崎・塚(鉾二)、坂・宮本(土二)、宇佐美・

関東高校軟式庭球選手権大会県予選会 (個人戦)

昭和17年5月17日 於水戸市営コート・石岡二高コート

順位	選手名	所属	対戦相手	スコア	結果	順位	選手名	所属	対戦相手	スコア	結果
1	小沼・高橋	(銚一)	知久・横田	4-0	男	29	知久・横田	(古一)	小沼・高橋	0-4	
2	平根・日黒	(日工)	小沼・福島	0-4		31	小沼・福島	(銚一)	平根・日黒	4-0	
4	宮本・川崎	(江戸崎)	豊田・阿部	4-0		32	豊田・阿部	(日大)	宮本・川崎	0-4	
7	菊地・窪木	(多賀)	荒木・照沼	2-4		35	荒木・照沼	(磯原)	菊地・窪木	4-2	
8	市川・中山	(妻一)	伊沢・滑川	1-4		37	伊沢・滑川	(日一)	市川・中山	4-1	
11	御田寺・中山	(日大)	桜井・飯田	4-0		39	桜井・飯田	(境)	御田寺・中山	0-4	
12	吉田・米田	(銚一)	大森・飯村	4-0		40	大森・飯村	(大子)	吉田・米田	0-4	
14	堀口・尾上	(太一)	稲田・大森	3-0		42	稲田・大森	(多賀)	堀口・尾上	0-3	
15	佐藤・武田	(日工)	柴田・竹村	4-0		43	柴田・竹村	(銚一)	佐藤・武田	0-4	
16	庄司・川崎	(水一)	江橋・広瀬	0-4		44	江橋・広瀬	(日大)	庄司・川崎	4-0	
19	須能・永木	(妻一)	根本・堀江	4-1		46	根本・堀江	(多賀)	須能・永木	1-4	
20	永井・阿部	(太一)	山野井・中島	2-4		49	山野井・中島	(取二)	永井・阿部	4-2	
22	小室・篠塚	(古一)	鈴木・清水	1-2		50	鈴木・清水	(大子)	小室・篠塚	2-1	
21	酒井・山崎	(緑岡)	青木・内野	4-0		52	青木・内野	(霞浦)	酒井・山崎	0-4	
26	堤・田村	(筑波)	鬼沢・小針	1-4		55	鬼沢・小針	(水城)	堤・田村	4-1	
28	稲田・鈴木	(日一)	石川・清水	4-4		56	石川・清水	(日一)	稲田・鈴木	4-4	

優勝 小沼・高橋(銚一)

女子

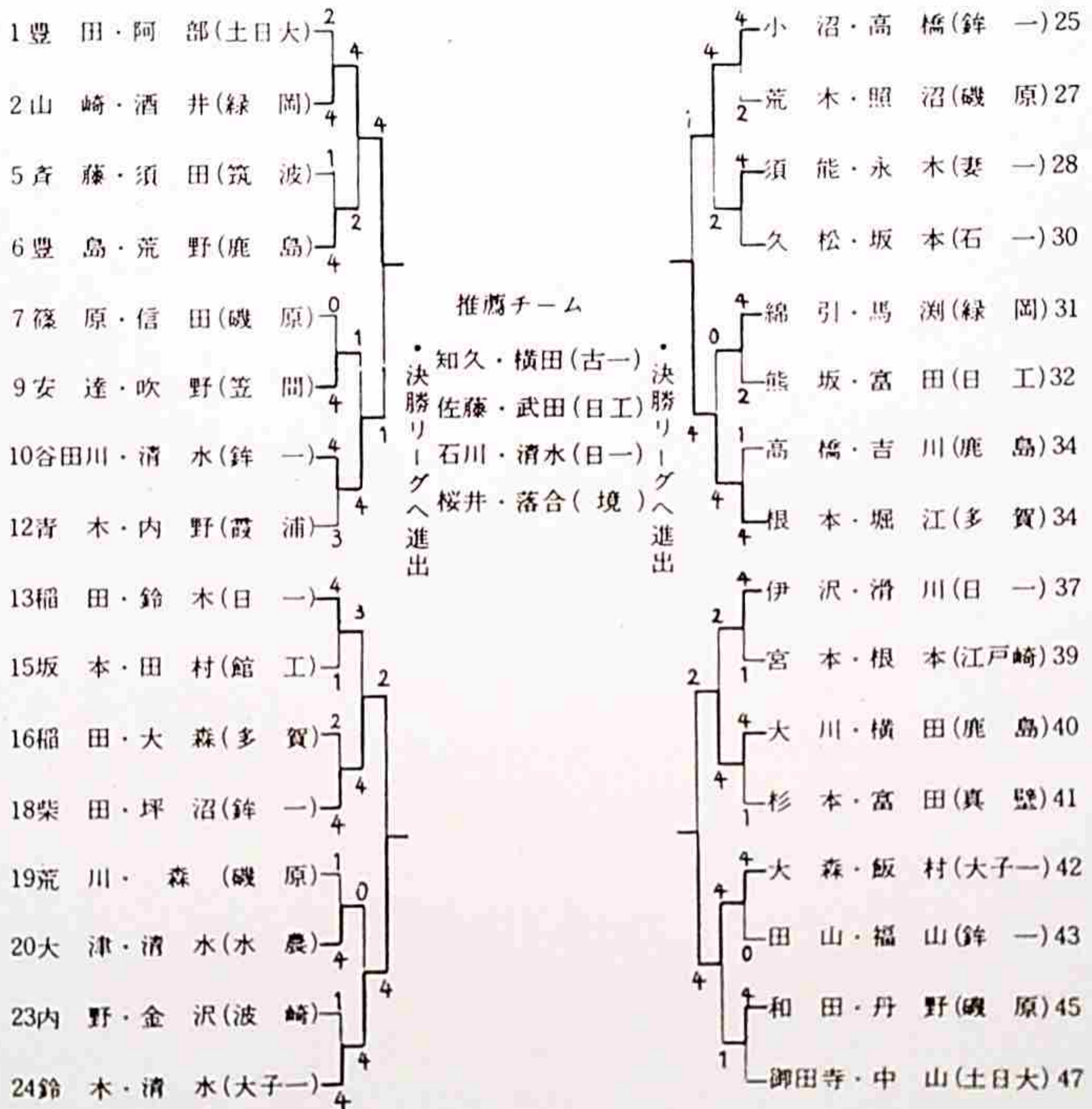
順位	選手名	所属	対戦相手	スコア	結果	順位	選手名	所属	対戦相手	スコア	結果
1	益子・白土	(日二)	篠田・皆川	4-0		29	篠田・皆川	(日二)	益子・白土	0-4	
3	原田・小池	(鹿島)	大柳・諸井	1-4		30	大柳・諸井	(妻一)	原田・小池	4-1	
5	西野・西野	(水二)	新堀・酒井	3-0		32	新堀・酒井	(銚二)	西野・西野	0-3	
7	横田・岡田	(土二)	小倉・川崎	4-0		34	小倉・川崎	(太二)	横田・岡田	0-4	
9	小沼・塙	(銚二)	木村・川井	2-4		36	木村・川井	(石二)	小沼・塙	4-2	
11	上田・鈴木	(石二)	館野・館野	4-0		39	館野・館野	(古二)	上田・鈴木	0-4	
12	荒井・稲野辺	(水三)	川又・永井	2-0		40	川又・永井	(土二)	荒井・稲野辺	0-2	
14	吉成・沼部	(太二)	芝崎・塙	4-2		42	芝崎・塙	(銚二)	吉成・沼部	2-4	
15	清水・藤田	(口二)	根本・柴田	4-3		43	根本・柴田	(日二)	清水・藤田	3-4	
17	栗原・広田	(石二)	高田・藤崎	3-4		45	高田・藤崎	(鹿島)	栗原・広田	4-3	
18	田口・米川	(銚二)	宇佐美・増田	4-2		46	宇佐美・増田	(太二)	田口・米川	2-4	
21	関山・大和田	(館二)	田中・鈴木	2-4		49	田中・鈴木	(結二)	関山・大和田	4-2	
22	永作・永作	(麻生)	前島・野口	4-1		51	前島・野口	(石二)	永作・永作	1-4	
25	小野・宇津木	(土三)	知久・古河	2-4		52	知久・古河	(古一)	小野・宇津木	4-2	
26	鬼越・永山	(日二)	古市・木名瀬	3-4		55	古市・木名瀬	(日商)	鬼越・永山	4-3	
28	坂・宮本	(土二)	木村・大久保	4-4		56	木村・大久保	(土二)	坂・宮本	4-4	

優勝 益子・白土(日二)

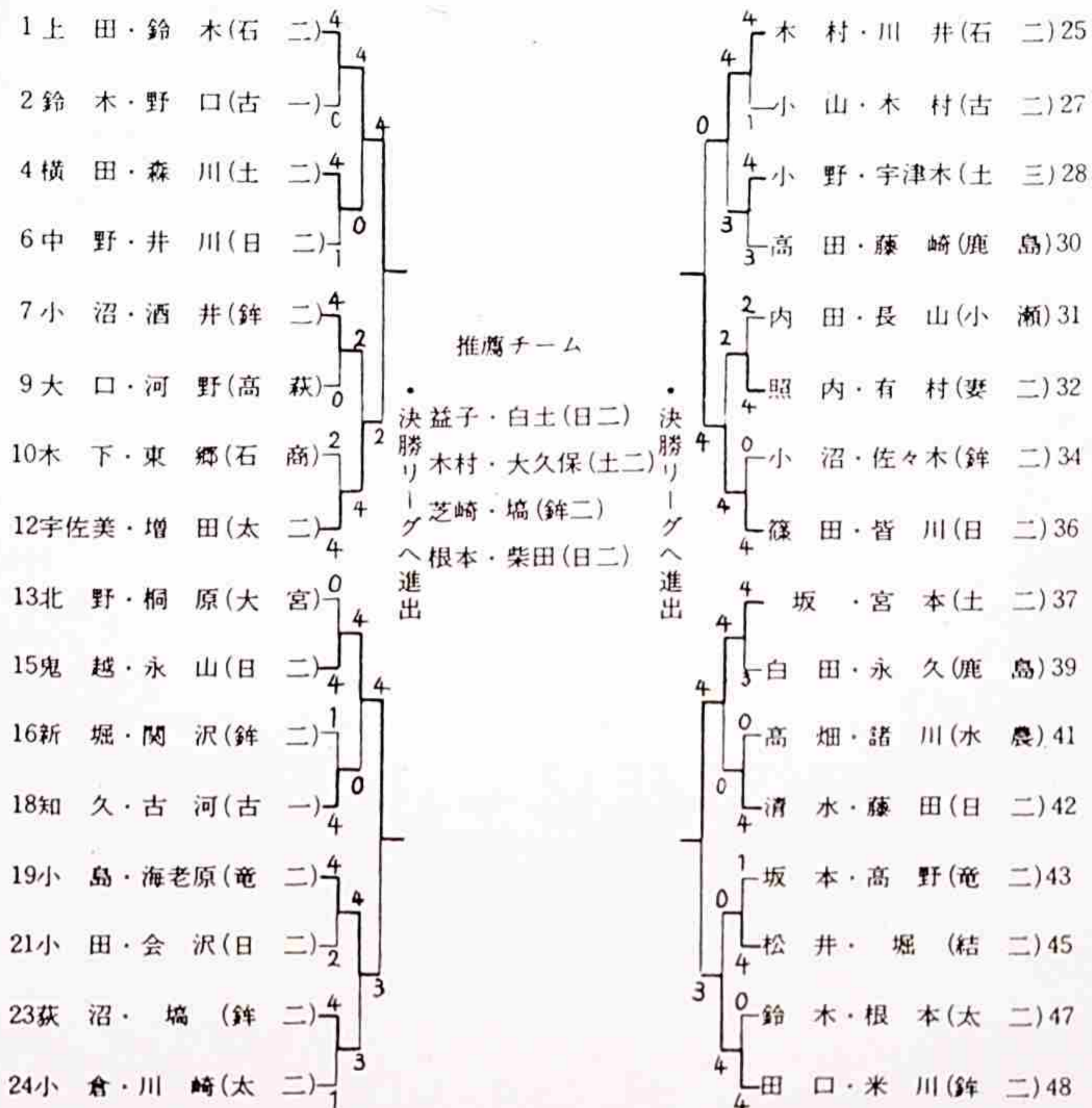
昭和47年度国民体育大会高校軟庭県第一次予選

水戸市営コート

男子



女 子



(戦評) 本年は選手選抜方法に新方式を採用した。過去大会の上位4組の推薦組と予選トーナメントの上位4組計8組による決勝リーグを行ない代表選手を決めた。男子は知久・横田(古一)、石川・清水(日一)、根本・堀江(多賀)が代表になった。ストレート出場なので鹿児島国体では頑張っ

しい。女子は水村・大久保(土二)が圧倒的強みを発揮して優勝。2位根本・柴田(日二)、3位芝崎・塙(銚二)と決定。関東優勝の益子・白土(日二)の敗退は大きなショック。併し後日芝崎・塙組が身体上の故障により入替えとなり益子組が代表。

第27回 国民体育大会高校軟庭県最終予戦

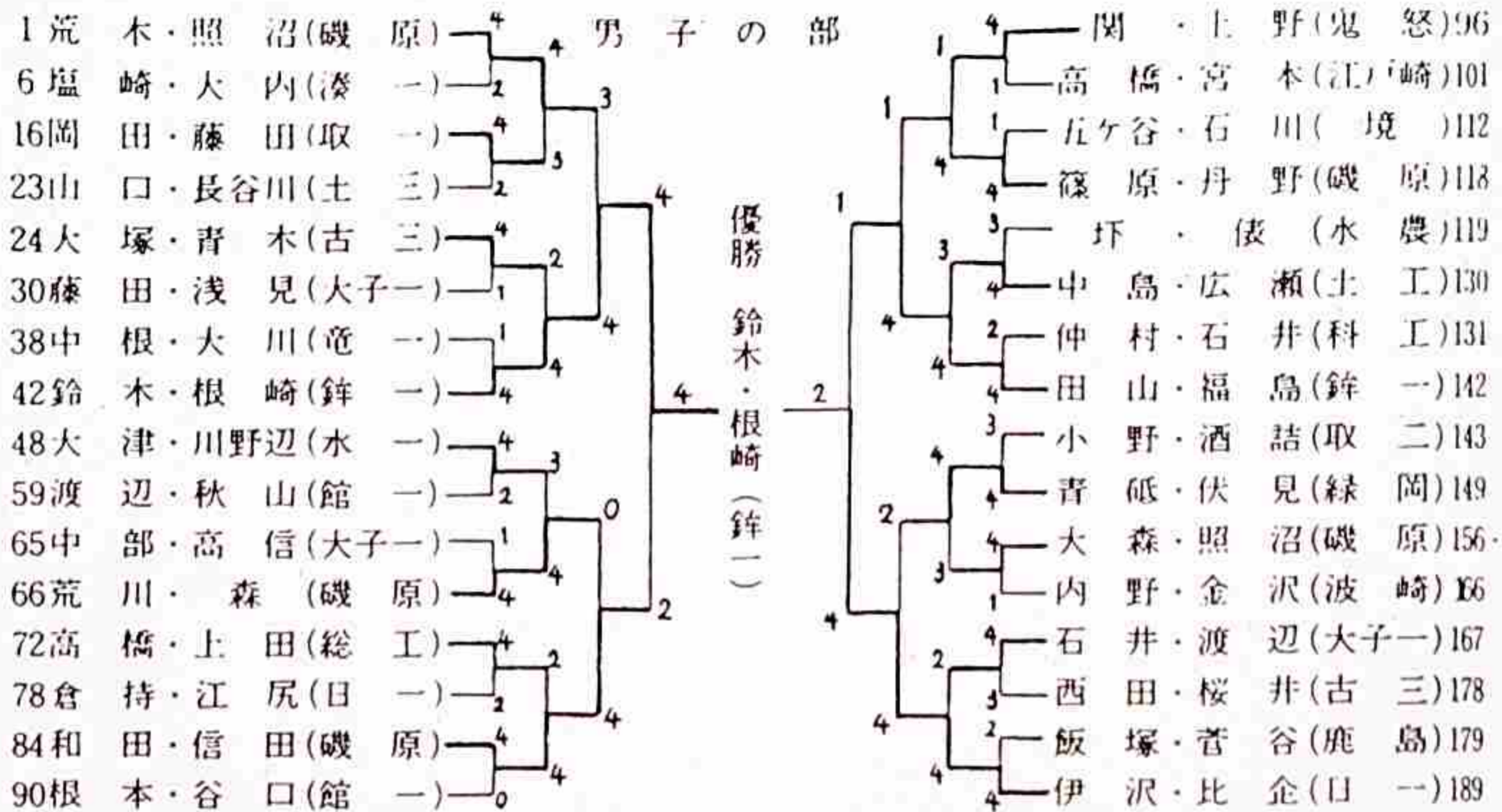
決勝リーグ 水戸市営コート 7月31日

男	子	桜井合 (境)	佐藤田 (日工)	石川 (日一)	知久横 (古一)	山崎酒 (緑岡)	根堀江 (多賀)	鈴木清 (大子一)	大飯森 (大子一)	勝 点	勝 数	順 位
桜井合	(境)		2	4	3	4	0	1	4	3	18	6
佐藤田	(日工)	4		2	1	4	3	4	4	4	22	4
石川	(日一)	3	4		0	4	4	4	4	5	23	2
知久横	(古一)	4	4	4		4	4	4	4	7	28	1
山崎酒	(緑岡)	1	0	2	1		0	0	2	0	6	8
根堀江	(多賀)	4	4	3	3	4		3	4	4	25	3
鈴木清	(大子一)	4	1	2	1	4	4		4	4	20	5
大飯森	(大子一)	3	2	0	1	4	0	3		1	13	7

女	子	益白 子土 (日二)	木大 久村 (土二)	芝崎 崎 (銚二)	上田 鈴木 (石二)	篠皆 田川 (日二)	坂宮 本 (土二)	鬼永 越山 (日二)	根柴 本田 (日二)	勝 点	勝 数	順 位
益白	子土 (日二)		0	1	4	4	4	4	2	4	19	4
木大	久村 (土二)	4		4	4	4	4	4	3	6	27	①
芝崎	崎 (銚二)	4	2		4	4	1	4	4	5	23	③
上田	鈴木 (石二)	0	3	2		4	2	4	2	2	19	7
篠皆	田川 (日二)	2	1	0	2		4	4	4	3	17	6
坂宮	本 (土二)	1	2	4	4	2		4	2	3	18	5
鬼永	越山 (日二)	0	2	0	1	0	0		2	0	4	8
根柴	本田 (日二)	4	4	3	4	3	4	4		5	26	②

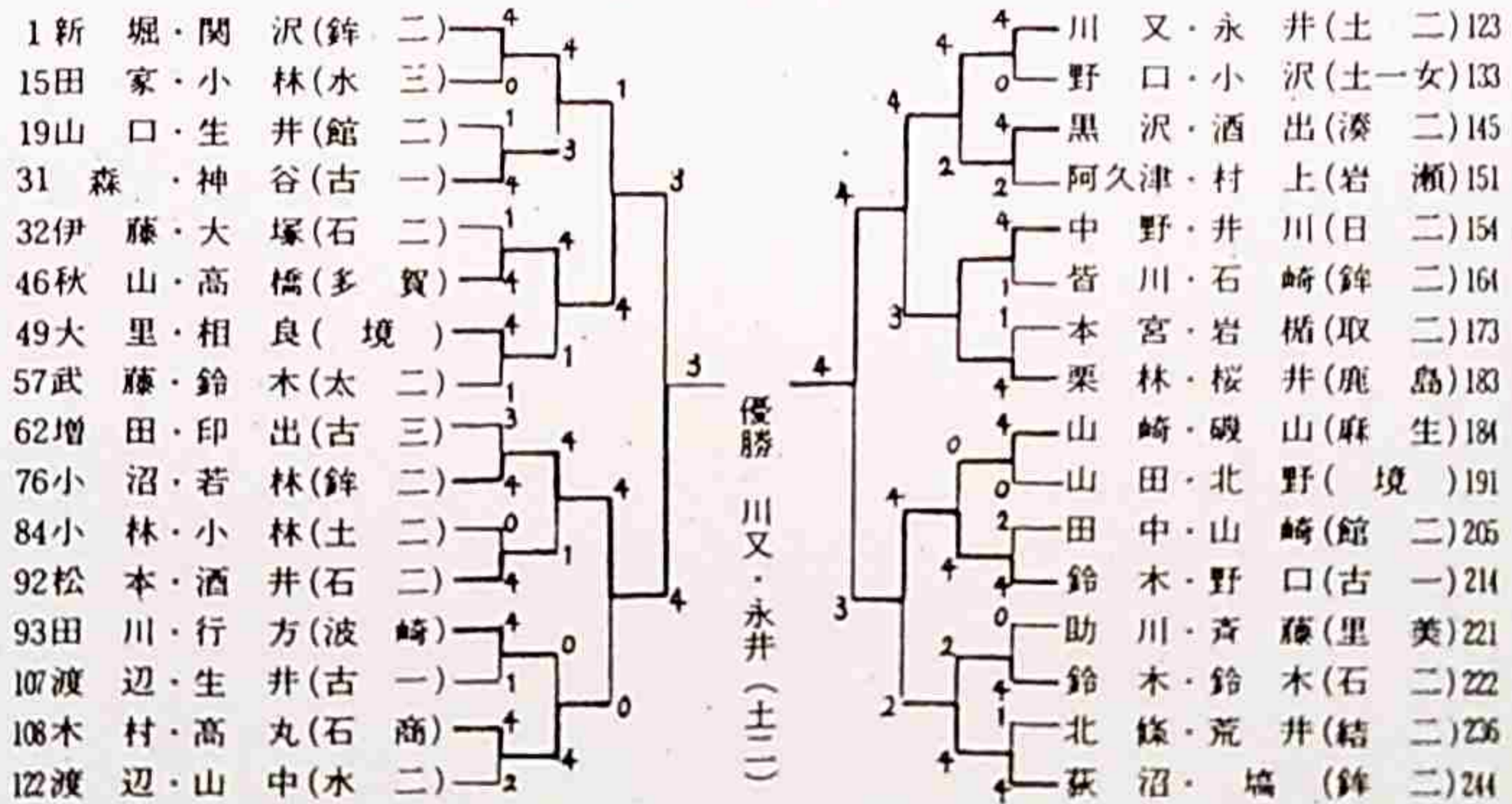
県軟式庭球一年生大会

9月26日 於 水戸市営コート, 水戸県営コート



於 土浦市営コート, 土浦二高コート

女子の部

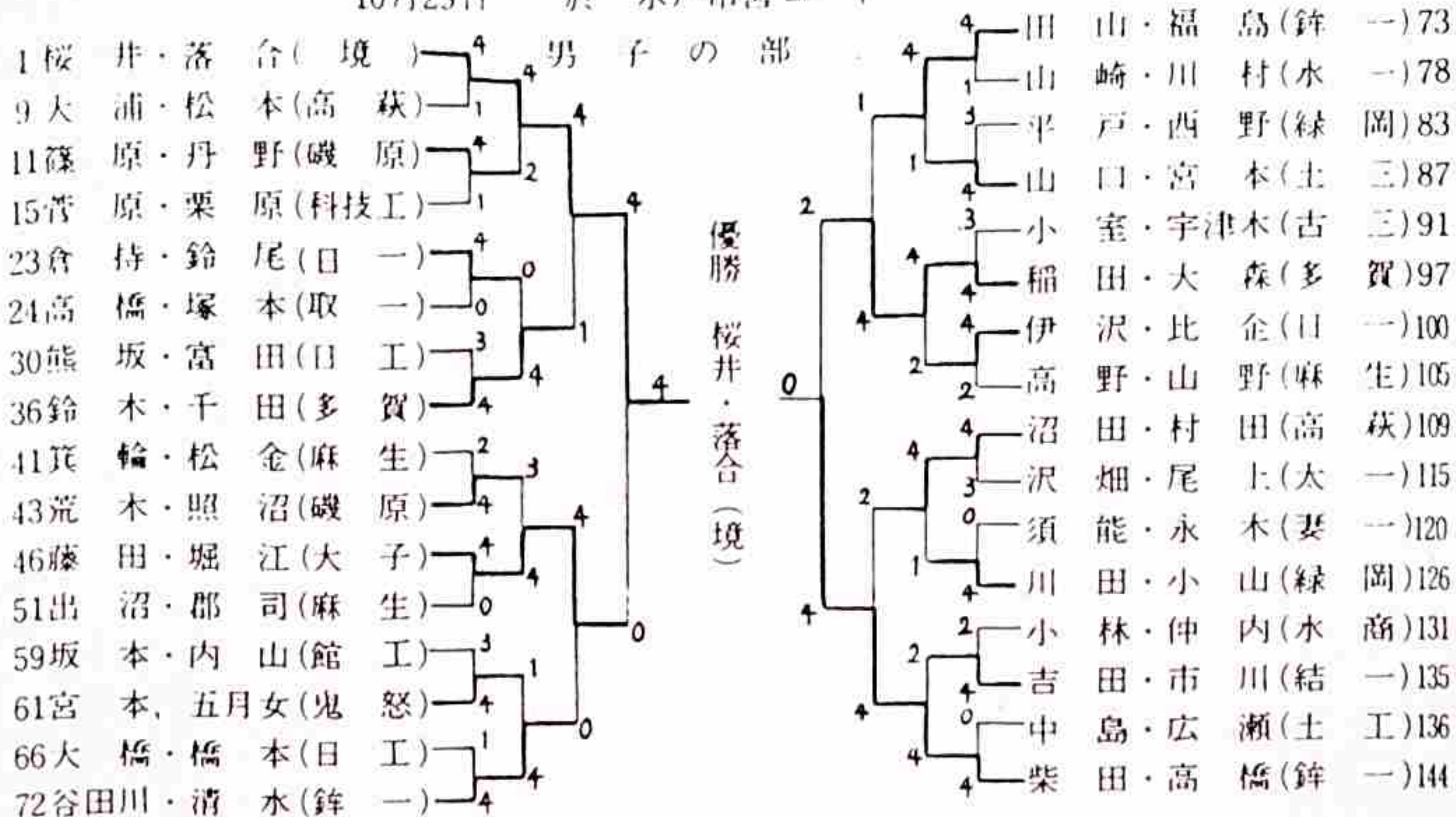


(戦評)新しく設けた大会で、茨城国体本番に備えて1年生の優秀選手発掘を目指すものである。参加チーム共に男子18組,女子24組を数え、関東大会並みの盛大なムードがあった茨城国体の盛会を予見させるよう。男子は鉾田一の鈴木・根崎組が優勝,女子は

土浦二の川又・永井組が優勝し茨城国体の有力候補に名乗り出た。しかし総体的には男子で磯原,日立一,女子で古河一,鉾田二あたりから強力な選手が出て来そうだ。ベスト16を強化選手に指名して訓練する計画を持っている。

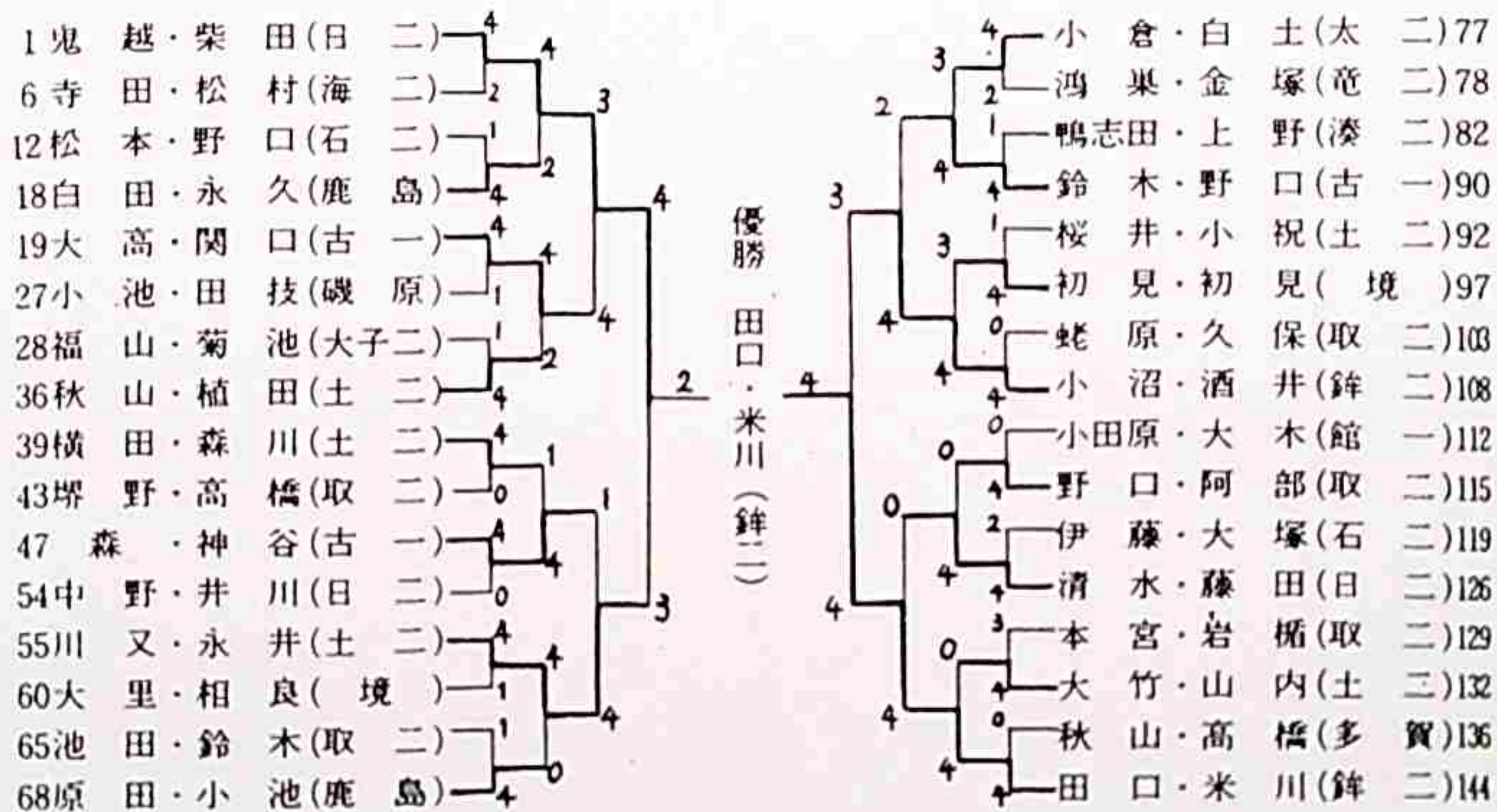
昭和47年度 第15回県新人選手権大会

10月29日 於 水戸市営コート



10月29日 於 水戸県営コート

女子の部



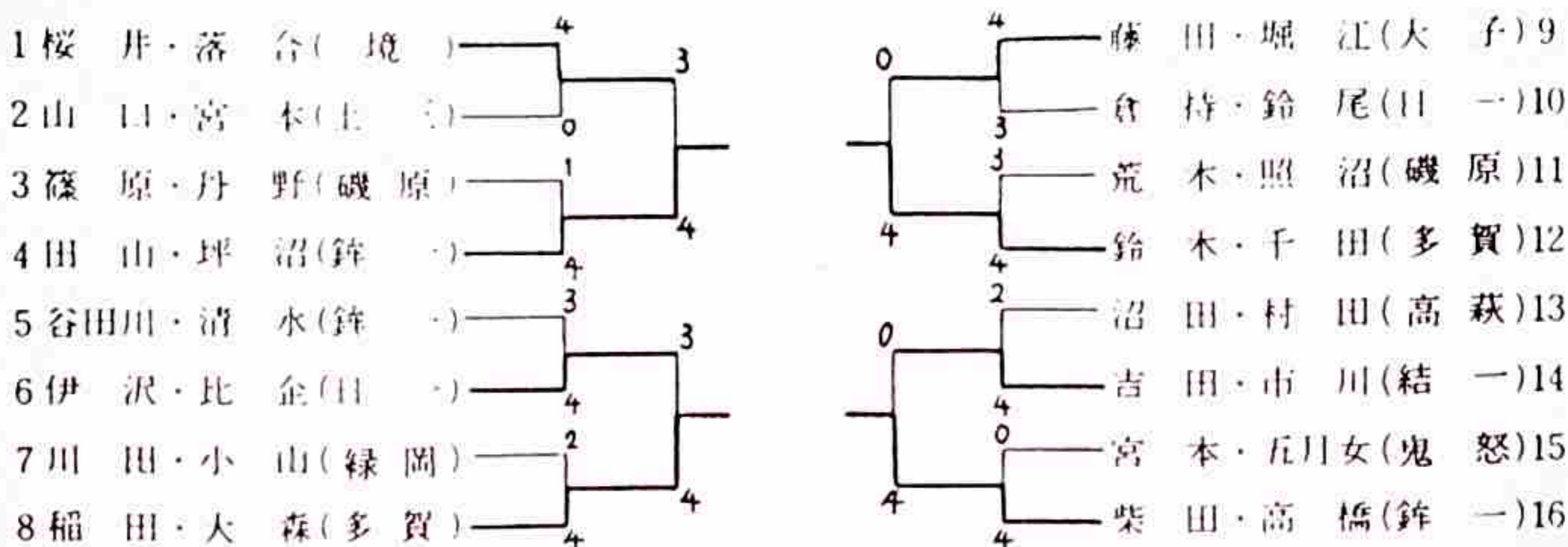
(戦評)男子の桜井・落合(境)の優勝は順当であろう。1年生大会で活躍した選手がどこまでやれるか楽しみにしていたがやはり先輩とは実力に差があるようだ。上位進出はなかった。

女子は古河一の大高・関口が鉾田二の田口・米川に迫ったが結局まだ力不足。1年生では川又・永井(土二)、小沼・酒井(鉾二)、鈴木・野口(古一)が上位進出で注目される。今後に期待したい。

昭和47年度軟庭インドア選手権大会

11. 10 於 県立スポーツセンター

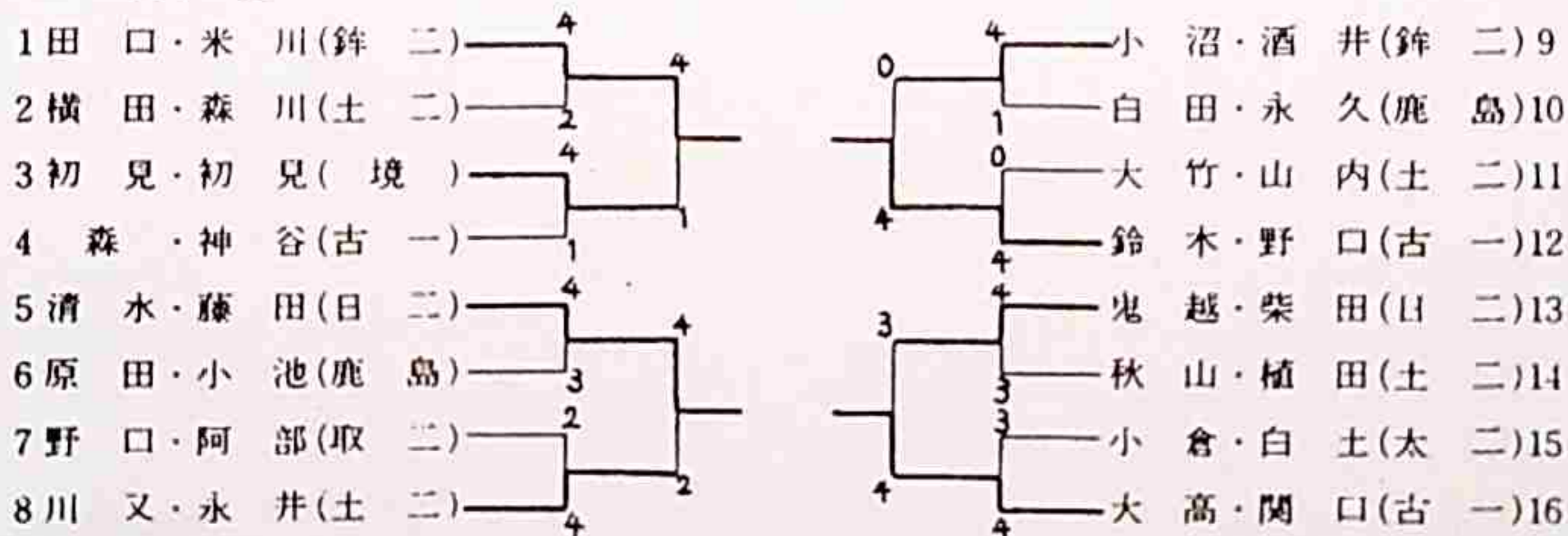
男子の部



男子決勝リーグ

	多賀	銚一	銚一	多賀	勝	順
1. 鈴木・千田 (銚一)		1 2	1	1	0	4
2. 田山・坪沼 (銚一)	④		3	④	2	2
3. 柴田・高橋 (銚一)	④	④		④	3	1
4. 稲田・大森 (多賀)	④	1	2		1	3

女子の部



女子決勝リーグ

	銚二	日二	古一	古一	勝	順
1. 田口・米川 (銚二)		④	④	2	2	2
2. 清水・藤田 (日二)	2		1	1	0	4
3. 鈴木・野口 (古一)	3	④		1	1	3
4. 大高・関口 (古一)	④	④	④		3	1

(戦評) インドア大会も第8回になり回を重ねるに従って試合内容も充実してきた。ゲームにやりにくい点があるが、役員
の先生方が審判に当りきびきびした試合運
びがみられた。男子は銚一が2組、多賀が
1組代表となつた。女子は古河一が2組、
銚二が1組で珍しい選手構成。米存の関

東インドアに出場する。本年は関東インド
ア大会に種々問題が生じたが昭和48年から
は関東高体連理事会で正式に認められ、関
東高体連と関東軟式庭球連盟主催で社会体
育の範囲で実施されることになった。

本県選手はインドアは苦手なので今度は優
勝をねらいたい。

昭和47年度県高校軟式庭球ランキング

高校男子

順位	学校	得点	後衛	前衛
1位	日一	202	石川 恒	清横 水 裕 司
2位	古一	134	知久 陽	横武 田 芳 昭
3位	日工	121	佐藤 一 次	武高 田 淳 光
4位	銚一	91.5	小根 沼 夫	堀高 江 橋 男
5位	多賀	59.5	根本 賢 直	堀高 江 橋 男
6位	日一	58.75	稲田 直 保	鈴木 水 敦 夫
7位	大子一	56	鈴木 隆 治	清中 水 淳 一
8位	土日大	44	御田 寺 井	中落 山 合 司
9位	境	36	桜井 繁 幸	阿部 部 弘 博
10位	土日大	35.5	豊田 幸 生	阿部 部 弘 博

高校女子

順位	学校	得点	後衛	前衛
1位	日二	330	益子 憲 子	白土 淑 子
2位	土二	209	木村 照 実	大久 京 子
3位	銚二	119.5	田口 みつ 子	米川 けい 子
4位	銚二	112.5	柴崎 春 美 子	堀 隆 子
5位	石二	103	上田 恵 子	鈴木 隆 子
6位	日二	101.5	根本 清 江 子	柴田 法 子
7位	土二	73.5	坂本 次 枝 子	宮本 圭 子
8位	土二	73	篠田 和 子	皆本 川 子
9位	太二	37.5	宇佐 美 津 子	増田 千 賀 子
10位	日二	36.75	清水 教 子	藤田 友 子